

# 平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 717

政策体系	13	事業分類	ソフト事業	所管部局	教育委員会 社会教育課
会計	一般会計	科目	10. 教育費 - 5. 社会教 - 3. 図書館 現年		
事業名	施設管理運営費				
細事業名	図書館システム等				
評価表作成者				教育委員会 社会教育課	大西 敏之

## 1. 事業の概要

図書館システムに係る、ソフト及びハードに対する保守委託全般。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

図書館運営の根幹であるシステムの保守管理を行い、市内4施設及び京都府内の図書館との連携を図り、円滑に図書館運営を行う。

### ② 事業を実施する必要性

資料の貸出・返却から、利用者管理・蔵書管理など図書館運営は図書館システムにより管理しており、システム保守管理が必要であるため。

## 3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円	1,283	2,437	2,314	2,138	2,315	2,250	2,250
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	1,283	2,437	2,314	2,138	2,315	2,250	2,250
職員等の従事人員		人/年	—	0.35	1.50	1.10			
人件費		千円	—	1,065	3,975	3,249			
事業費総額		千円	—	3,502	6,289	5,387			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

・ソフト及びハード保守料金 2,137,716円

## 5. 事業結果の概要

図書館システム年間保守  
 中央図書館  
 八木図書室  
 日吉図書室  
 美山図書室

## 6. 活動の詳細

### 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

システム導入によるメリット（市内4施設や府内施設との連携）を活かした図書サービスを展開している。

#### 【参考】過年度の評価

##### ■平成22年度の所属長評価

システム導入によるメリット（市内4施設や府内施設との連携）を活かした図書サービスの展開。  
図書システムの年間保守金額について、業者との折衝により減額に努めた。  
さらなるサービス向上を図る必要がある。

##### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
システム導入によるメリット（市内4施設や府内施設との連携）を活かした図書サービスの展開。
- ②当該事業のアピール事項  
図書システムの年間保守金額について、業者との折衝により減額に努めた。
- ③反省点、今後の展開・方向性等  
さらなるサービス向上を図る。